

ボランティア・市民活動シンポジウム 2012

時 間	プログラム
13:30～15:30 (120分)	<p>主催者あいさつ オリエンテーション</p> <p style="text-align: center;">ボランティア・市民活動シンポジウム 2012</p> <p>「ボランティアの価値を伝え、ボランティアを推進していこう～東日本大震災の災害支援ボランティア・市民活動をもとに～」</p> <p>東日本大震災の災害支援ボランティア活動では、改めてボランティアの価値等が浮き彫りになりました。ボランティア・市民活動のあり方や、伝えるべきボランティアの価値、これからの活動の推進に生かすべき点について議論を深めます。</p> <p>【報告者】 山内明子氏 (日本生活協同組合連合会 執行役員組織推進本部長)</p> <p>【コーディネーター】 加藤志保氏 (チャイルドライン支援センター 理事)</p> <p>【コメンテーター】 原田正樹氏 (日本福祉大学 学長補佐)</p> <p>【シンポジスト】</p> <p>峯村里香氏 (幼い難民を考える会 事務局長) カンボジアで、幼児期の子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと、女性の自立を支援している。被災地では避難所の子どもたちへ遊具を持参し、一緒に遊びながら、ボランティア活動をしている。また、高齢者等には指編みキットなどを送付して、避難所の人同士が関係をつくる仕掛けをした。</p> <p>有原領一氏 (宮古市社会福祉協議会 地域福祉課主査) 宮古市の若者の元気を引き出し、地元の若者が中心となって宮古市の復旧復興をリードしていくための事業を行う団体M.A.Dと協働。現在に至るまで、被災地の復旧復興支援活動、戸別ニーズ調査、避難所支援、仮設住宅住民支援、広報誌発行等を続けている。</p> <p>小澤義春氏 (みやぎ生協 生活文化部長) ひとりひとりのふれあいからはじまる、『協同』の力で、人間らしい暮らしを創造し、平和で持続可能な社会を実現するための事業を行う。被災地では、生協のネットワークを生かし、発災直後の安否確認に始まり、さまざまな自主的・自発的な支援活動を行っている。</p> <p>「広がれボランティアの輪」連絡会議について</p> <p>「広がれボランティアの輪」連絡会議は、ボランティア・市民活動への参加促進や、活動の環境整備・質の向上等を図ることを目的として、幅広い関係組織(55団体)が結集した緩やかな全国連絡組織です。ボランティア・市民活動の社会的支援に関する提言活動や、関係者による懇親会・シンポジウムの開催、全国的な広報・啓発活動等を行っています。詳細は、ホームページ(http://blog.hirogare.jp/)をご参照ください。</p>

本事業は、独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成により実施するものです。